

事業番号 2021 - 復興 - 20 - 0132

令和3年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	福島医薬品関連産業支援拠点化事業			担当部局庁	復興庁	作成責任者	
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定) 年度	令和7年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官	伊地知 英己
会計区分	東日本大震災復興特別会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年8月11日東日本大震災復興対策本部決定) 福島復興再生基本方針(平成24年7月13日閣議決定、平成29年6月30日、令和3年3月26日改定) 福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真(令和元年12月9日復興庁・経済産業省・福島県策定) 「復興・創生期間」後における東日本大震災からの復興の基本方針(令和元年12月20日閣議決定) 福島復興再生計画(令和3年4月9日内閣総理大臣認定)		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災からの復興の基本方針を受け、福島県に医薬品関連産業の支援拠点を整備することにより、福島県民の医療・福祉・生活の質の向上を図るとともに、医薬品に関連する新産業や雇用を創出することを通じて、福島県の復興に貢献する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	福島県立医科大学において地域医療機関等と連携し、疾患組織・医療情報等を収集するとともに、データ解析等を行い、医薬品等の開発拠点を整備する。創薬に有効な抗体、マイクロアレイの2つの基盤技術を元にした新たな医薬品関連産業を創出するとともに、浜通り地域等における医薬品関連産業の集積を推進する。						
実施方法	補助						
予算額・執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求
	予算の状況	当初予算	-	-	-	2,998	2,328
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
	計		0	0	0	2,998	2,328
	執行額		0	0	0	-	-
執行率 (%)		-	-	-	-	-	
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	-	-	-	-	
令和3・4年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由		
	福島県基金		2,998	2,328	-		
	計		2,998	2,328	-		

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 7年度	目標最終年度 12年度
	令和12年度に福島県内での医薬品生産金額が平成23年度比20%増	福島県内の医薬品生産金額	成果実績		億円	1,145	1,456	-	-
目標値				億円	-	-	-	-	1,264
達成度				%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	薬事工業生産動態統計調査								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	事業成果物の商談進展件数	活動実績		件	106	241	216	-	-
		当初見込み		件	-	-	-	230	250
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	ライセンス交渉件数	活動実績		件	-	-	30	-	-
		当初見込み		件	-	-	-	40	50
単位当たり コスト	算出根拠			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	1年間の予算執行額/(事業成果物の商談進展件数+ライセンス交渉件数)		単位当たりコスト	百万円	23.6	10.6	9.3	11.1	
			計算式	百万円/件	2502/106	2549/241	2287/246	2999/270	

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国 必 費 投 入 の 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は東日本大震災からの復興、産業・雇用の創出等に貢献するものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	被災地域の産業振興については、事業者、自治体だけでは実施困難なため、国の主体的関与が不可欠。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医薬品産業の競争力強化やベンチャー企業等の創出、震災復興などに貢献する事業であり、優先度は高い。
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	基金方式を活用することにより、事業主体である福島県による弾力的な執行が可能であり、効果的かつ効率的な事業である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業は、福島医薬品関連産業支援拠点における基盤技術開発とその成果の社会実装を支援することを通じて、福島県における新産業・雇用の創出を目指すものであり、受益者との負担関係は妥当である。 なお、事業期間終了後の自立化を促す観点から、事業期間の後半は共同研究や事業化の進展等による収入増加を見込み、国費投入額を漸減させる計画としている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	各事業の規模・内容に合わせた効率的な支出に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	不必要な団体を経由しておらず、また、委託も最小限であることから合理的である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	医薬品に関連する新産業や雇用を創出することを通じて、福島県の復興に貢献する業務に限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	指名競争入札を実施することで、技術力がある業者に対して効率的に業務の委託を行っている。	
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	目標設定は令和3年度より実施
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	目標設定は令和3年度より実施
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備したTRセンターを最大限に活用して事業を進めている。
事 業 連 携	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	医薬品産業の競争力強化やベンチャー企業等の創出を着実に進め、震災復興に寄与する成果をみせている。また、現在開発中の技術については、製薬企業等との共同研究やライセンスアウト・事業化等を行うことで福島県への更なる寄与になると考える。	
	改善の方向性	令和3年度以降は事業期間終了後に自立化を促す観点から、事業期間の後半は共同研究や事業化の進展等による収入増加を見込み、国費投入額を漸減させる計画としている。	

外部有識者の所見

研究プロジェクトごとの目標値と成果を明確に示す必要があり、そのような検証過程を通じて引き続きのニーズを的確に把握し、効果的・効率的な執行に努めること。

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

予算の効果的・効率的な執行を行うために、引き続きのニーズを適切に把握するとともに、適正な予算規模を定めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

各研究テーマの事業内容については、福島県の復興に寄与するものとなるよう第三者評価も受けながら随時見直しを行っている。引き続き、令和七年度の事業終了に向けて必要な予算規模を精査しつつ、効果的・効率的な執行に努めていく。

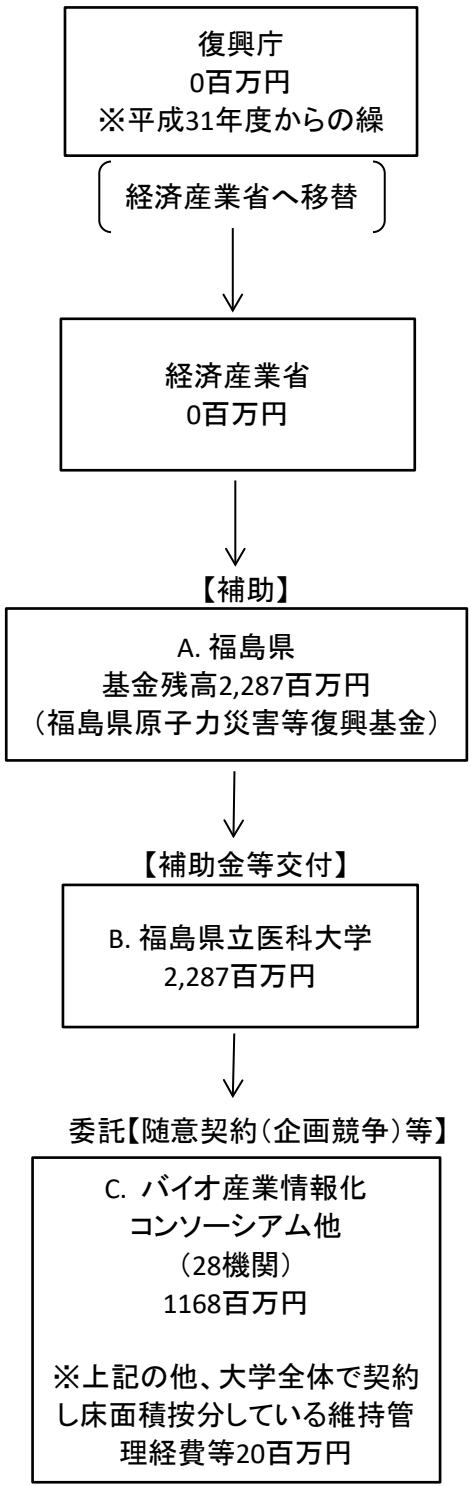
備考

-

関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成24年度	経済産業省 307	-	-	-
平成25年度	-	-	-	-
平成26年度	-	-	-	-
平成27年度	-	-	-	-
平成28年度	-	-	-	-
平成29年度	-	-	-	-
平成30年度	-	-	-	-
令和元年度				
令和2年度	復興庁 - 0134			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位: 百万円)



費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.福島県			B.福島県立医科大学		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	補助金	福島医薬品研究開発拠点事業費補助金	2,287	委託費	研究開発業務、解析業務等	1,188
-	-	-	消耗品費	実験に用いる消耗品等	503	
-	-	-	労務費	研究員等人件費	299	
-	-	-	その他経費	光熱水費、調査費等	160	
-	-	-	設備費	実験に用いる機械装置等	133	
-	-	-	旅費	職員、外部評価委員旅費	4	
計		2,287	計		2,287	
	C.バイオ産業情報化コンソーシアム			D.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	消耗品費	実験に用いる消耗品等	365	-	-	-
	労務費	研究員等人件費	245	-	-	-
	その他経費	光熱水費、借料等	182	-	-	-
	旅費	研究員等旅費	3	-	-	-
	計		795	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県	7000020070009	基金管理、補助金交付	2,287	補助金等交付	-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公立大学法人福島 県立医科大学	4380005002314	医薬品関連産業支援拠点 化事業の実施	2,287	補助金等交付	-	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人バイオ 産業情報化コンソ シアム	9010605002381	解析データ取得、事務局運 営等	795	随意契約 (企画競争)	1	-	-
2	福島セルファクトリー 株式会社	2380001030741	抗体産生細胞の取得、 GMP細胞保管施設管理運 営等	107	随意契約 (その他)	-	-	-
3	一般財団法人福島 医大トランスレーショ ナルリサーチ機構	9380005012259	臨床試料・臨床情報の管理 業務等	83	随意契約 (その他)	-	-	-
4	福島プロテインファク トリー株式会社	5380001028881	タンパク質マイクロアレイ用 サンプル調製等	79	指名競争契約 (最低価格)	-	-	-
5	富士フィルム和光バ イオソリューションズ 株式会社	4380001029798	細胞を用いた薬効試験等	30	随意契約 (その他)	-	-	-
6	株式会社ジェー・ エー・シー	8013201002450	実験動物飼育管理、動物 実験の補助、動物実験施 設管理 等	18	指名競争契約 (最低価格)	-	-	-
7	株式会社adkit	3010401066314	データベースシステム移 設・拡張作業	11	随意契約 (その他)	-	-	-
8	国立大学法人 東海 国立大学機構	3180005006071	共同研究費用	10	随意契約 (その他)	-	-	-
9	株式会社レイテスト サイエンス 郡山営 業所	7370001042766	研究機器の保守点検等	8	指名競争契約 (最低価格)	-	-	-
10	サンセイ医機株式会 社	1380001009159	病理標本作製等	5	指名競争契約 (最低価格)	-	-	-